

4/15
2022年第1424号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
会 武
行 和
人 田
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
電 話 (06) 6568-7731 (代 表)
http://osk-hok.org/
● 定 価 ・ 年 間 10,000 円 月 1,000 円
● 1977 年 5 月 23 日 第 三 種 郵 便 物 認 可



写真は大阪府・市作成宣伝物の表紙。IRを「経済成長のエンジン」と謳い、国内外からの年間来訪者約2000万人を見込むがその根拠は乏しい。ギャンブル依存症対策ではIR事業者頼みだ

府・市議会の可決に抗議

小澤理事長が撤回求め談話

カジノ誘致

大阪府・大阪市の両2月議会で、大阪の夢洲にカジノを中核とする統合型リゾート(IR)を誘致するための区域整備計画が可決された。協会の小澤理事長は可決に抗議するとともに大阪府・大阪市の計画の撤回を求める談話を8日に発表した。全文は次の通り。



大阪府・大阪市の両2月議会で、大阪の夢洲にカジノを中核とする統合型リゾート(IR)を誘致するための区域整備計画が可決された。協会の小澤理事長は可決に抗議するとともに大阪府・大阪市の計画の撤回を求める談話を8日に発表した。全文は次の通り。

大阪府・大阪市の両議会で可決したこと強く抗議。府・市が進めるカジノの区域整備計画が、大阪維新の会と公明党などの賛成多数で可決された。同計画は膨張する公費負担のつけを府民・市民に押し付け、過大な経済効果に基づく荒唐無稽な内容である。十分な審議が相次いでいる。府・市

はこれまで「IRで公的負担はない」としてきたが、方針転換への合理的な説明は何もない。コロナ禍で海外からのカジノ目当ての観光客が見込めないも、日本人集客をUSJ並みの「1400万人」と想定するなど、年間4200億円もの過大な収益を見込んでいる。そもそも賭博場はギャンブル依存症の元凶であり、カジノ誘致は

ロシア軍はウクライナから撤退を

高島屋前 街頭宣伝

ロシアのウクライナ侵攻に抗議する世論を上げようと協会は9日、役員と事務局らが難波・高島屋前で街頭宣伝を行った(写真)。小澤理事長はじめ役員6人が参加し、「ロシアは直ちに撤退を」と訴えるポスターなどを掲げアピールしたほか、募金を呼び掛けるチラシを配布した。

小澤理事長はロシアのウクライナ侵攻を契機に日本の平和憲法を見直す議論を安倍元首相らが繰り返していることなどに触れ、「戦争や核兵器による力の対決では解決しない。侵略戦争反対、平和憲法を生かした外交を」と訴えた。



ロシアの侵攻によって周辺諸国へ避難するウクライナの人々を支援しようと原水爆禁止日本協議会(日本原水協)が「ひまわり募金」を呼び掛けている。集めた募金は現地で衣類や食糧・医薬品などの支援物資の購入に使われる。ひまわりはウクライナの国花にちなんでいる。

ひまわり募金にご協力いただける方は、左記口座へ。郵便振替用紙付き募金チラシが必要な方はTEL06-6568-7731(歯科協会)まで。

【口座番号】00110・9・1780
【加入者名】原水爆禁止日本協議会
※通信欄に「ひまわり募金」と記入してください。

ウクライナ緊急人道支援募金のご案内

平和憲法を持つ国だから



ウクライナでは近隣諸国へ避難した420万人のほか、戦乱続く国内でさらに650万人が避難生活を送っていると聞かれています。ひまわり募金は避難民に直接活用され、ロシアの侵攻は住居、病院、学校など市民生活の場にも戦火が及んでおり、言語道断です。平和憲法を持つ日本の私たちがすべき支援は、軍事的な武器供与ではなく、市民を直接支えるための人道支援です。私も募金に協力しました。ウクライナの人々を支えながら、この戦争を一刻も早くやめさせるため、戦争反対・核兵器廃絶と呼びかけ、ロシアは即時撤退を求める国際世論を拡げていきましょう。(大阪反核平和医療人の会世話人)

メディアが相次ぎ報道

ロシアへの経済制裁を背景に金パラの価格が高騰していることを受け、マスメディアが相次いで「逆ザヤ」問題を報じている。「治療するほど赤字」「想像を絶する上がり方」など歯科医師の声を紹介し、患者負担増の可能性を指摘している。

朝日

使うほど赤字

金パラ関連のニュースは、テレビ・新聞・インターネットメディアなど様ざまな媒体で取り上げられている。デジタル版(3月19日付)で報じた『朝日新聞』は、保険償還価格との差が3万円以上に達しているとし、「使えば使うほど赤字になる状況だ」と指摘した。『宮崎日日新聞』『北海道新聞』も歯科医に取材し、取り上げた。

金パラ高騰 逆ザヤ悪化

NHK

経営を圧迫

地上波ではNHKをはじめ、北海道文化放送、石川テレビ、静岡放送、

東海テレビなどが報道。NHKは歯科医院の状況として「このまま価格の高騰が続けば、経営を圧迫するとして危機感を募らせています」と紹介。国への対応を求める歯科医の声を紹介した。

要請受け検討

協会では、J-CASSTニュースが「ロシアの侵攻で『銀歯』使えなくなる？」とのタイトルで配信(3月14日付)。4月の診療報酬改定による価格の見直しについて、「21年9月ごろの市場での価格を反映させた」と指摘。高騰に迫っている。

協会ではウクライナ侵略による金パラの高騰を受け、厚生省に対して緊急要請書を3月16日に提出。材料価格の緊急改定とともに、赤字分の補填を求めた。歯科医療界の声を受け、政府は対応を検討。報道によれば、4月中旬に取りまとめる緊急経済対策に金パラ高騰への対応策を盛り込む方向で検討している。

歯界

「生理の貧困」に関する調査結果をこのほど、厚生労働省が発表した。「新型コロナウイルス発生後、生理用品の購入・入手に苦労したこと」が「よくある」ときどきある」を合わせ回答者の8・1%に上ったという。

調査結果を受け、生理フレンドリーな社会を目指す活動する「#みんなの生理」は、生理の貧困はコロナ前から存在している問題で構造的・制度的問題であると指摘し、「職場での生理・更年期差別禁止」などを法律で明文化することなどをアピールする。

生理の貧困は、生理を衛生的に迎えるための物的環境や生理に関する教育に十分アクセスできない状態だ。学校・職場など社会活動の場での生理への無理解にもつながっている。

生理をはじめとする性を教育を社会に浸透させ、生理を自己責任にしないことが重要だ。社会的課題として行政や市民の取り組みを広げたい。

求人情報の更新

協会ホームページの求人情報を4月15日に更新しました。
URL
http://osk-hok.org/job/